

発起：子どもたちの遊びと遊戯活動におけるバランスのとれたアプローチ

1. 安全や衛生・保健の法律はしばしば子どもや青少年の遊びや遊戯活動を大きく妨げる原因になります。例えば、気にも留めないような些細なリスクが一旦過剰な心配の種になると、それが訴訟や起訴への恐れに繋がる事があります。日々の忙しさに忙殺されて、本当に重要なリスクの管理がそもそも必要かどうかさえ置き去りにされてしまっています。
2. この通達では、リスクに対する頻出する誤解にどう取り組めばいいかを一般に伝えることを目的としています。この通達の中で、HSEは「規制当局として」それぞれの子どもの能力に関係なく、あらゆる年齢の子どもや青少年がチャレンジ性の高い遊びの機会を持つことのベネフィットを認めていることを宣言します。
3. HSEは、様々な環境におけるすべての子どもたちの遊び場の提供を積極的にサポートします。子どもたちがしっかりと管理されている環境がある一方で、ある程度のリスクや時には表に出ない潜在リスクを伴う遊び環境にさらされることを、HSEは理解し、許容しています。
4. 誤解されやすい安全や衛生・保健の法律のデメリットとしてチャレンジ性に欠け楽しみが無いような不毛な遊び環境が作られないようにし、子どもの学びや発達を妨げてはいけないというのがHSEの見解です。
5. 上記の問題に対するHSEの見解の伝達の確実性を高めることを目的とする為、この通達の「対象」は子どもたちが遊ぶことに関与する「全ての人」です。HSEは不必要な心配や仕事を省き、実際リスク(※1)に対する実用的で適切なリスクマネジメントに焦点を当てることを促進します。HSEが重きを置く関心は、重大な法律違反から生じる実際のリスクにあり、調査などはその問題に焦点を当てています。

遊びのベネフィットを認識する

重要事項：「遊びは子どもの健康や発達にとって、最高で最効率な行為だと言えます。遊びの機会を計画して環境を作る際に目標とするのは、リスクを排除することではなく、リスクとベネフィットを比較し、検討することです。ふわふわコットンのような柔らかいものに包まれているような状態では、子どもはリスクについて何も学べません。」

6. 遊びが子どもたちの人生という名の世界を創るということを、HSEは完全に同意します。それぞれの子どもが自己の能力を知り、理解するきっかけを与え、学ぶ機会を提供し、成長します。そして、皆が生きていく世界の現実を身をもって感じることであります。それは、リスクのない世界ではなく、リスクが常に存在する世界です。遊びは子どものリスクに対しての意識を高め、子どもの未来に備えます。

※1. 裁判所は、安全や衛生の法律において「リスク」という単語を指す場合、些細なまたは空想的なリスクは考慮していないことを明確にしました。これは、責任者や職員に不合理な負担を負わせない為です。

7. 子どもを深刻なリスクから保護することと、遊びのベネフィットを享受することの適切なバランスを取ることは、必ずしも容易ではありません。リスクを排除すれば良いという話ではありませんし、複雑な計算方法から割り出したリスクやベネフィットの数値などありません。本質的に、遊びは安全で有益な活動です。子どもが不必要なリスクにさらされないことを保証しながら最善のベネフィットをもたらすためには、大人の冷静な判断が求められます。その判断を下す為、EN 1176などの遊びの基準は重要な役割を果たします。

8. 適切なバランスをとるということは、次のことを意味します。

- ・ 遊びを設計する際、リスクとベネフィットを比較し、検討する。
- ・ 深刻なリスクおよび遊びの体験にとって有益ではない、またはユーザーが予測できないリスクに焦点を当て、マネジメントする。
- ・ リスクの導入が遊びの機会と体験の一部を形成する可能性があるということを認識する。
- ・ リスクマネジメントの目的は、すべてのリスクを排除することではないことを理解する。そして時には深刻な怪我や生命に関わる怪我が起こる可能性があるリスクさえ(マネジメントする必要はあるが)排除しない考えを理解する。
- ・ 遊びのベネフィットが最大限に発揮されるようにする。

9. 適切なバランスをとることは、次のことを意味しません。

- ・ すべてのリスクを排除、または継続的に削減する。
- ・ 遊び場のすべての場所においておびただしい量の書類を用意することで見当違いの安心感を与える。
- ・ 低リスクの遊びに対して高リスクの遊びを視野に入れたアセスメントを行う。
- ・ 遊具のメンテナンス不備から発生するリスクに代表される遊びの体験に有益ではない、または不可欠ではないリスクを無視する。
- ・ ミスや事故は絶対に起こらない。

保護者や社会が遊び場の提供者に期待すべきこと

重要事項：「遊びの機会を提供する人は、卓上の理論ではなく、ベネフィットを確保または増やすという事に関して、実物のリスクマネジメントに焦点を当てるべきです。」

10. 遊び場の提供者(※2)は、提案されたアセスメントとマネジメントすべきリスクに対応することを保障するために、独自の判断と専門知識、および必要に応じて他の判断を使用する必要があります。

11. そのマネジメントとは具体的に何なのか、なぜそれらが必要なのかを伝え、誰もが重要なリスクに焦点を当てるようにしなければなりません。

12. 遊び場の提供者の取り決めにより、次のことを確認することが重要です。

- ・ 遊びのベネフィット - 子どもたちのチャレンジやリスクの体験を不必要に減らさない。
- ・ アセスメントと判断は些細で空想的なものではなく、実際のリスクに焦点を合わせる。
- ・ リスクをコントロールする際、リスクの高低でつり合いを取る。

※2. 遊び場の提供者とは、遊びの施設の管理や提供に携わる関係者のことを指します。

また、公園、緑地、アドベンチャーパーク、レージャー観光地、学校、ユースクラブ、家族で遊べる娯楽施設、保育施設などでの活動に携わる関係者も含まれます。

13. リスクを賢明かつバランスよくマネジメントするために、遊んでいる時のリスクマネジメントに関するガイダンスとしての「遊び場でのリスクマネジメント：実行ガイド」を作成しました。このガイダンスのアプローチとして、リスクベネフィットアセスメントを使います。リスクベネフィットアセスメントではリスクとベネフィットが相互に考慮されます。遊びのベネフィットを考慮しながら、リスクアセスメントを実行し、リスク対策が実現可能であり、評価されたリスクレベルがリーズナブルである事を保証します。HSEは、リスクマネジメントへの賢明なアプローチのガイダンスとして、これをサポートします。

物事がうまくいかない場合

重要事項：「遊びの中で事故や失敗は日常的に発生するものです。よって、訴訟や起訴に対する懸念が歪な形で増幅します。」

14. 遊び場の提供者は、責任を持って賢明かつバランスの取れたリスクに対処することが期待されます。実際、重大な事故が起こる確率は非常にまれです。問題が発生した場合、それに対する適切な対応を理解し、バランスの取れた透明性のあるレビューを実施することが重要です。

15. 重大な職務不履行の場合、起訴の可能性は残ることがあり、完全に除外することはできません。ただしこれは、遊び場の提供者は些細なリスクであっても排除する必要があるという意味ではありません。実用的で適切な措置を講じていれば、安全や衛生・保健の法律に違反したり提供者の起訴を大衆が求める可能性はほとんどありません。

2012年9月